

平成 28 年度 養護教員部活動

5 月 2 日 第 1 回養護教員部会（役員会）

年間事業計画、研究推進について

養護教員部会（グループ研修）

「生涯にわたり、心身ともに健康なライフスタイルを確立するための支援の在り方」を研究主題とし、昨年度に引き続き、今年度も三つのグループに分かれて研修を行っています。

歯科保健・食育	＜研究テーマ＞ 「歯・口の健康づくりに必要な取組」 ＜主な実践内容＞ ① 実態把握（歯科検診を基に）・昨年度データとの比較 ② 関係機関との連携（保健所、保健センター） ③ 研究発表
性教育	＜研究テーマ＞ 「性に関する教育の推進における養護教諭の専門性と役割」 ＜主な実践内容＞ ① 年間カリキュラムの作成 ② 教材・教具の開発、保管 ③ 研究発表
発達・療育	＜研究テーマ＞ 「特別支援教育や校内外での連携・協働において、 養護教諭に求められる役割と支援の在り方」 ＜主な実践内容＞ ① 自校と専門機関との連携について ② 校内連携のまとめ ③ 研究発表

8 月 10 日 養護教員部会実技研修会

赤十字救急法指導員の資格を持つ、市内の養護教諭二人が講師として「AED を含む心肺蘇生法の講習会」を行いました。研修内容は、①学校におけるアレルギー疾患対応（エピペン）②三角巾実習③心肺蘇生法の三つについて実施し、緊急時の対応について学ぶことができました。



7月25日

養護教員部自主研修会

健康相談に関する研修

毎年、夏季休業中に健康相談に関する研修を行っています。

今年も、森田光子先生（多摩相談活動研究所）を講師としてお迎えし、一日研修に取り組みました。午前は、「最近の子どもの健康課題とその対応」について講話をしていただき、その後、日頃私たちが感じている「子ども・家庭・社会」における課題を話し合いました。多様化した健康課題への対応では、背景にある要因を見極め、見立て、適切な対応を選択し、関係者をコーディネートしながら、実際に対応していくことが必要だと感じました。対応の領域は、教育・カウンセリング、医療につなぐ、生活指導、福祉につなぐなど、大きく四つに分けられ、校内組織の中で話し合い、支援選択をすることが大切だと改めて感じました。午後からは、ケースメソッド教育（ケースを使った討論形式の研修）を活用した二つの事例研究を行いました。討論しながら当事者の立場に立ち、自分ならどのように行動すべきかを適切に判断していく体験を通して、自分の意見をきちんと伝えることが大事だと再認識しました。

各地で養護教諭の研修に関わっておられる御経験から、様々な事例についても紹介していただき、貴重な研修・充実した一日となりました。



8月10日

養護教員部夏季研修会

西宇和支部との合同研修

夏季研修会では、西宇和支部の養護教諭との合同研修を行いました。ベック医院・別宮 弘先生をお迎えして、「子どもの外傷・傷害予防 ～学校検診における運動器検診～」の講演をしていただきました。RICE療法や熱中症予防について、専門的な立場から教えていただきました。別宮先生からの熱い思いを受け取り、西宇和の先生方との交流を深めることができました。

